

大阪府立大学・市立大学統合に関する要望書

この『2020年度 大阪府立大学・大阪市立大学統合に関する要望書』は、2020/9/16～9/23に行ったアンケートをもとに作成し、10/14に大学に提出されました。

なお、アンケートは府大の全学と市大を対象に行い、府大生から319件、市大生から7件の回答がありました。

概要は以下の通りです。全文とアンケートの概要はウェブサイトに掲載しています。

①府市大統合に関する説明会の実施について

〈要望〉

アンケート結果から、「府市大統合後に、キャンパス・課外活動等がどのように変化する予定なのか」、「そもそも府市大統合をするメリットは何なのか」、「何故、英語名が University of Osaka なのか(※)」等の疑問を持つ学生が多く、「学生への説明が不足している」という意見が多いです。このように、府市大統合に関する学生の理解度は低く、「理解度が0・理解度が1(0～4の5段階評価で4が高評価)」と回答した学生が全体のおよそ44%になっています。

また、こうした理解度の低さから、「府市大統合はどちらでもよい」と回答した学生は全体の64%、「今のままでは反対」は10%、「断固反対」は8%となっています。

ここから、学生に対して、府市大統合についての十分な説明をしなければ、府市大統合への学生からの関心・支持を得ることができない、という懸念があります。

そのため、府市大統合に関する説明会の実施を要望しました。

※その後2021年3月12日に英語名称の Osaka Metropolitan University への変更が発表されました。

②早期キャンパス計画の確定について

〈要望〉

府市両大学の学生団体や部活動は府市大統合後の活動に向けて議論を進めようとしています。しかし、キャンパス移転時期を始めとするキャンパス計画が明確ではありません。

そのため、「統合後も杏樹祭は継続されるのか」、「統合後のキャンパス移動は具体的にどうなるのか」「現在ある部活動は、どのように統廃合されるのか」等の疑問を持つ学生が多くいます。これらの疑問が明らかにされなければ、学生は府市大統合に向けての活動を行うことが不可能です。

ここから、学生が自らの大学生活について支障なく議論出来るように、キャンパス計画を早期に公表する必要があります。

そのため、①基幹授業開催場所、②移転学部計画の詳細、③キャンパスごとの課外活動使用可能設備、以上3つの早期確定を要望しました。

③開学時点での全キャンパスの環境の統一化について

〈要望〉

大阪府立大学と大阪市立大学では、現在、キャンパスごとの設備・予算などの環境が異なります。しかし、統合後のキャンパス間に差異があれば、大阪公立大学(仮)の学生にとって不利益になる可能性があります。ここから、大阪公立大学(仮)開学までに、学内Wi-Fiの対応機器の拡大や課外活動等の環境の改善を行う必要があります。

そのため、キャンパスの設備調査等の現状確認を実施したうえでの、学習環境・課外活動環境の統一を要望しました。